

「食品のトレーサビリティに関する意見交換会」で移動消費者の部屋を開設

「信頼の一步は入出荷記録から」をテーマに食品のトレーサビリティに関する意見交換会が、11月14日に那覇第2地方合同庁舎1号館で開催されました。食品危害を迅速に把握し、商品の速やかな回収による問題の拡大防止や原因究明を容易にするなどの点で、食品の出荷、流通、販売時に各事業者が「何を、いつ、どこから入荷し」、「何を、いつ、どこへ出荷したか」といった食品の移動を記録・保存することは重要であることから、食品のトレーサビリティを事業者が自主的に取り組めるよう支援していくこととしています。

「移動消費者の部屋」においても、食品のトレーサビリティについての理解を深めて頂くため、トレーサビリティが果たす役割やその効果等に関するパネルの展示を行いました。

